

にいがた市民大学入学式（公開講演会）実施状況について

1 目的

にいがた市民大学開設講座の受講を促す / にいがた市民大学のPRを図る

2 過去の実施状況

年度	期	開催年月日	講師	テーマ	会場	参加者数
H6	1	平成6年9月12日（月）	東京大学医学部 教授 養老 孟司	脳から見た社会	市民プラザ	500人
H7	2	平成7年9月25日（月）	明治大学 教授 中村 雄二郎	自己発見のすすめ ～内なる豊かな脈を掘り起こすために～	市民プラザ	300人
H8	3	平成8年9月24日（火）	東京大学社会科学研究所 教授 西垣 通	グローバル・ネットワークのひろく近未	市民プラザ	250人
H9	4	平成9年9月20日（土）	新潟大学名誉教授 新潟脳外科病院ブレインリサーチ センター所長 生田 房弘	脳のしくみに思う	万代市民会館	200人
H10	5	平成10年9月17日（木）	立命館大学 教授 宮本 憲一	足元から地球環境を ～維持可能な発展を考える～	市民プラザ	400人
H11	6	平成11年9月17日（金）	上智大学 教授 猪口 邦子	激動する世界と日本	市民プラザ	400人
H12	7	平成12年9月8日（金）	淑徳大学 教授 北野 大	エネルギーと環境問題	市民プラザ	400人
H13	8	平成13年9月13日（木）	恵泉女学園大学 教授 大日向 雅美	母性愛は神話なのか ～虐待や育児ストレス急増の背景を考える～	市民プラザ	400人
H14	9	平成14年9月5日（木）	川崎医療福祉大学 教授 佐々木 正美	大きな喜びと深い悲しみを、決して怒りではなく ～親と子のコミュニケーションに絶望しないために～	市民プラザ	400人
H15	10	平成15年9月4日（木）	鳥取環境大学 学長 加藤 尚武	環境から見た経済・経済から見た環境	市民プラザ	250人
H16	11	平成16年9月2日（木）	東京大学東洋文化研究所 教授 猪口 孝	国連の可能性と日本外交	市民プラザ	280人
H17	12	平成17年8月29日（月）	新潟大学名誉教授・ 新潟脳外科病院ブレインリサーチ センター所長 生田 房弘	わたしたちの脳が出来るしくみに思う	新潟市音楽文化会館 ※木下航志ライブも開催	317人
※H18 市民大学リニューアルのため実施せず						
H19	13	平成20年3月16日（日）	作家 立松 和平	南極で考えたこと	市民プラザ	244人
H20	14	平成21年3月1日（日）	俳優 武田 鉄矢 えにし屋主宰 清水 義晴 新潟市長 篠田 昭 にいがた市民大学運営委員会 副委員長 柴田 光榮	新時代をひろく新潟のまちづくり	市民プラザ	500人
H21	15	平成22年3月7日（日）	日本医学会会長 自治医科大学学長 高久 史麿	わが国の医療提供体制の問題点 ～わたしたちが安心して医療を受けられ ることを願って～	市民プラザ	250人
H22	16	平成23年2月27日（日）	杏林大学外国語学部 教授 金田一 秀穂	面白い日本語 ～世界一受けたい授業・国語編～	市民プラザ	500人
H23	17	平成23年10月10日（月）	東京藝術大学 学長 宮田 亮平	ときめきのこころ ～芸術を通して～	市民プラザ	174人
H24	18	平成24年8月18日（土）	新潟国際情報大学 学長 平山 郁夫	今に問う良寛の生き方の意義 －ユーロ危機から学ぶこと	市民プラザ	195人
						(うち一般公開講演会参加者数) (7人)
H25	19	平成25年5月25日（土）	アナウンサー(元NHK) 加賀美 幸子	ことば、その力 ～心を動かす言葉～	新潟市音楽 文化会館	314人
						(うち一般公開講演会参加者数) (157人)
H26	20	平成26年5月31日（土）	筑波大学名誉教授 白川 英樹	私の歩んだ道 ～自然に学ぶ楽しさ～	市民プラザ	333人
						(うち一般公開講演会参加者数) (79人)
H27	21	平成27年5月24日（日）	JAXA シニアフェロー 川口 淳一郎	なぜ、「はやぶさ」は成功したのか ～世界発を生んだ日本の力～	市民プラザ	341人
						(うち一般公開講演会参加者数) (160人)
H28	22	平成28年6月5日（日）	静岡大学名誉教授・文学博士 小和田 哲男	戦国武将の学び －何を学び、どう生かしたか	市民プラザ	342人
						(うち一般公開講演会参加者数) (149人)
H29	23	平成29年5月27日（土）	明治大学文学部教授 齋藤 孝	日本語力と身体感覚を育てる	市民プラザ	281人
						(うち一般公開講演会参加者数) (141人)
H30	24	平成30年5月26日（土）	獨協大学教授・経済アナリスト 森永 卓郎	遊びながら、学び、稼ぐ方法	市民プラザ	242人
						(うち一般公開講演会参加者数) (61人)
R1	25	令和元年6月1日（土）	日本文学研究者・国文学研究資料館長 ロバート キャンベル	「楽に生きる」ことを人々はどう考えてきたか －江戸から明治、そしてこれからの「未来」に向けて－	市民プラザ	339人
						(うち一般公開講演会参加者数) (141人)